

障害者福祉拠点における利用／支援実態と拠点間連携の研究

-共生型地域包括ケアシステムの構築を目指して-

代表研究者 東京電機大学未来科学部 教授 山田あすか

共同研究者 東京電機大学未来科学部 研究員 古賀 政好

〔研究の概要〕

本研究では共生型地域包括ケアシステム構築に向けて、東京都の足立区と練馬区でのヒアリング調査から障害者福祉の事業所・施設の利用と連携状況を把握し、障害者福祉の地域でのマネジメントの可視化を明らかにした。また関東／東北4県の障害者支援施設へのアンケート調査とヒアリング調査から入居者像やニーズの特徴、地域との交流機会や施設間連携などを把握し、施設の重度化と地域課題への取り組み実態を明らかにした。さらにドイツの「多世代の家」の現地調査を行い、多世代交流や地域の実情に応じたプログラム提供の実態を明らかにした。

〔研究経過および成果〕

現在、高齢者福祉では重度の要介護状態でも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる「地域包括ケアシステム」の構築が進められている。しかし人口減少で物的・人的資源が縮減するこれからの社会で地域密着型の支援／ケア体制を持続するには障害者福祉の施設や事業所等(以下、拠点)もまた地域資源として組み入れる「共生型地域包括ケアシステム(図1)」として再構築し、高齢／障がい／疾病等で何らかの支援やケアが必要な人々を包摂する必要がある。本研究では多様な支援サービスが提供される障害者福祉の拠点での利用／支援実態と拠点間連携について、ドイツでの世代等によらない共存の場:「多世代の家」についての調査を行った。



図1 共生型地域包括ケアシステムのイメージ

■障がい児者福祉拠点の実態と拠点間連携

東京都の各自治体の障がい者登録者数、障がい児・者の各福祉関連サービス事業数を収集し、各自治体の支援ニーズと障がい「児・者」の相対的な事業充実度を類型化した(図2)。そして最近隣選択ないし地域内利用を越えた事業所選択や定員不足の相互補填など、拠点間連携によるネットワークでの支援体制構築に着目し、支援ニーズが【高・中】で、「児・者」

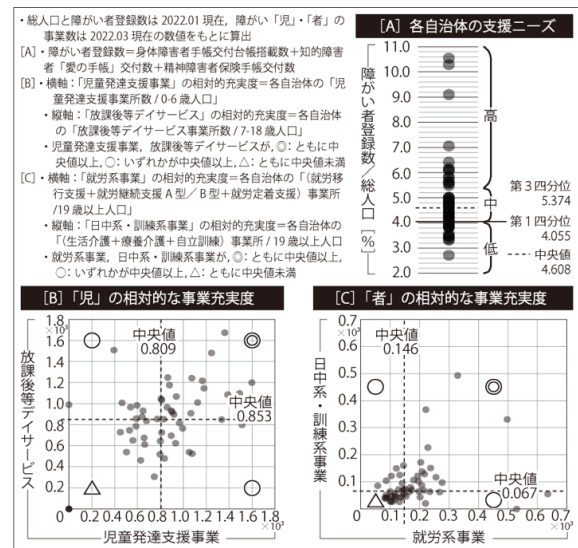


図2 東京都の各自治体の相対的な支援ニーズと障がい「児・者」の事業充実度の類型整理

の相対的な事業充実度が比較的低い足立区と練馬区を対象として自治体／ネットワーク基点／事業所へのヒアリング調査を行った。足立区では中心となるセンターを構えて連携等を図り、練馬区は4つのエリアそれぞれにセンターを設置し、各エリアで支援体制を整えていた。ともに事業所間連携や利用者のマネジメントの可視化が行われており、地域の支援体制を明快とし、障がい当事者だけでなく支援者も支援しやすい環境がつけられている。地域全体で障がい当事者を支える環境として、区内で事業所ネットワークを構築し、事業所間での連携を促し、区内に限らず区外の自治体、事業所・施設間での連携が重要と考える¹⁾。

■障害者支援施設の重度化と地域拠点機能

地理的条件が異なる関東地方と東北地方から「比較的大規模な施設」の比率に着目して、比率が高いA県(東北)、C県(関東)と比率が低いb県(東北)、d県(関東)」の4県の障害者支援施設へのアンケート調査とヒアリング調査を行った。比較的大規模施設の割合が高い県では重度・高齢の入居者が多く、グループホームへの移行が困難な状況にあると考えられる。地域との連携・交流機会(図3)では地域の障がい児者・高齢者を対象としたサービスや施設内外間わな交流や高齢者への支援やこどもの居場所づくりといった地域課題への取り組みがみられる。今後、地域が抱える課題への取り組みが施設にも求められるなかで、障がい者支援を主たる事業としながら地域の実情に応じた拠点機能の展開が必要になると考える²⁾。

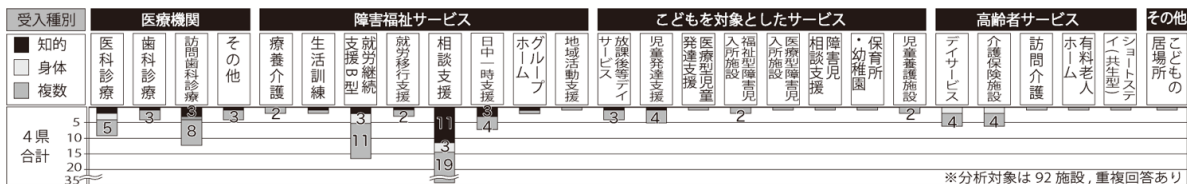


図3 同一建物・敷地内で行われている事業・取り組み

■ドイツ「多世代の家」での共存の場づくり

ドイツ連邦政府が2006年に地域交流を促進し、誰もが気軽に参加できる場「Mehrgenerationenhaus(以下:多世代の家)」を開始している。約530事例のうち9事例への現地調査を行った。多世代交流だけでなく、周辺地域の実情に応じて、世代ごと、障害者、移民・難民、ユダヤ人家系などへの多種多様なプログラムも展開されている。一例である高齢者住宅併設例ではウィンターガーデンと呼ばれる中庭とサンルーム(図4)で活動を行っている。日本の高齢者施設や障害者施設にしばしば置かれている地域交流スペースも、属性によらない共生型の地域包括ケアシステムの一環であるプログラムとして「多世代の家」のような活動の展開可能性が期待できると考える。

[発表論文]

- 梶川龍星・入佐奈都実・古賀政好・山田あすか: 東京都の障がい児者福祉拠点における利用/支援実態と拠点間連携の研究 -足立区と練馬区の障がい児者拠点の現状分析-, 日本建築学会, 地域施設計画研究 41, pp.319-326, 2023.7
- 柳田紗希・古賀政好・山田あすか: 関東/東北地方4県における障害者支援施設の重度化と地域拠点機能に関する研究, 日本建築学会, 地域施設計画研究 41, pp.337-346, 2023.7



図4 高齢者住宅併設の多世代の家での建物の余白空間